

# 展示リスト

## 荒川 豊蔵

1894年～1985(明治27年–昭和60年)

岐阜県出身、

陶芸家。

号は斗出庵。京都の宮永東山窯で作陶を始め、昭和27年には北大路魯山人に招かれて、鎌倉の星岡窯を手伝う。

陶磁器の歴史で謎とされた桃山時代の古窯跡を自ら発見し、志野、瀬戸黒、黄瀬戸の再現、表現研究に没頭した。

人間国宝、文化勲章受章。

## 奥村 土牛

1889～1990(明治22年–平成2年)

東京都出身、本名は義三、

日本画家。

梶田半古、小林古径に師事。

知的な画面構成は厳しい気品に溢れている。

院展の代表的画家芸術院会員、文化勲章受章。

## 小泉 淳作

1924～2012(大正13年–平成24年)

神奈川県出身、

日本画家、陶芸家。

東京芸大日本画科を卒業後、デザイナー、陶芸家としても活躍。

特定の画壇に属さず、独自の画風を確立した。

建仁寺、建長寺の天井画は有名。

## 坂口 仁一郎

1859～1923(安政6年–大正12年)

新潟県出身、

政治家、漢詩人。

字は思道、号は五峰。

衆議院議員（8期）、新潟新聞社長を歴任。

無頼派で知られる作家坂口安吾の父。

## 中村 不折

1866～1943(慶応2年–昭和18年)

東京都出身、本名はさく太郎、

洋画家。

別号に環山、孔固亭。

浅井忠、小山正太郎らが主宰した十一字会研究所で学ぶ。

フランスでローランスに師事。

帝国美術院会員。

## 湯川 秀樹

1907～1981(明治40年–昭和56年)

東京都出身。

中間子論で昭和24年日本人初のノーベル賞（物理学）受賞。

京都帝大、東京帝大、コロンビア大の教授を歴任。

平和運動にも積極的に活動した。

文化勲章受章。

本色紙は、県立新津高校の創立50周年の記念講演の際に、中野家を訪問して、したためたもの。

## 石黒 忠恵

1845～1941(弘化2年–昭和16年)

新潟県出身、

幼名は庸太郎、茶人としてカン斎、カン翁の号がある。

明治時代の陸軍医師で、草創期の軍医制度を確立した。

軍医総監、貴族院議員、日本赤十字社の第四代社長を歴任。

文化人、茶人としても知られた。

## 北大路 魯山人

1883～1959(明治16年–昭和34年)

東京都出身、本名房次郎、

陶芸家、書家、篆刻家、料理研究家等極めて多才な天才芸術家。

陶芸は志野、備前、織部などの技法を生かし、豪放な作風。

魯山人は戦前中野家にしばらく逗留し、名品を鑑賞した。

赤坂山王台にひらいた星丘茶寮（ほしがおかさりょう）の建物は

は中野家の建物を移築したもの。

## 小杉 放庵

1881～1964(明治14年–昭和39年)

栃木県出身、本名は国太郎、

画家。

初号は未醒。

小山正太郎に学ぶ。

若い頃は洋画で活躍し、後年日本画に移り、独自の水墨画の

世界を築いた。

## 富本 憲吉

1886～1963(明治19年–昭和38年)

奈良県出身、

陶芸家。

色絵磁器に金銀彩を施した創意に満ちた華麗な作風を築いた。

帝国芸術院会員、東京美術学校教授、京都市立芸大学長等を歴任。

人間国宝、文化勲章受章。

## 松岡 譲

1811～1969(明治24年–昭和44年)

新潟県出身、本名は善譲、

小説家、随筆家。

夏目漱石の門下生で、東京帝大在学中に、芥川龍之介、

久米正雄らと第四次「新思潮」を創刊。

夏目漱石の娘筆子と結婚。

代表作にベストセラーとなった「法城を護る人々」がある。

## 梅原 龍三郎

1888～1986(明治21年–昭和61年)

京都府出身、

洋画家。

浅井忠、ルノワールに師事。

豊かな色彩と独自の画面構成で一時代を築いた。

日本洋画の巨匠。東京美術学校教授、日本芸術院会員等を歴任。

文化勲章受章。

## 熊谷 守一

1880から1977(明治13年–昭和52年)

岐阜県出身

東京芸大卒業後、二科会、二紀会で活躍。

後年は無所属で活動し、形と色を単純化した独自の絵画を

制作し、文化勲章や叙勲も辞退するなど自由な生活を送り「画壇の仙人」と言われた。

水墨画、書も能くした。

## 小山 富士夫

1900～1975(明治33年–昭和50年)

岡山県出身、

陶磁研究家、陶芸家。

最初、陶芸を学ぶが、作陶を離れ、東洋陶磁研究所にて古陶磁

の研究に専念。東京帝室博物館、文化財保護委員会に勤務し、

陶磁に関する各種協会の設立に尽力。陶磁研究の第一人者として活躍した。晩年に種子島等で作陶活動を再開。

当館にも何度も足を運ばれ、親交があった。

## 中川 一政

1893～1991(明治26年–平成3年)

東京都出身、

洋画家。

書、陶芸、随筆も手がけ、独自の筆致と色彩、構図で自由奔放な

世界を築いた多才な芸術家。独学で油絵を始め、岸田劉生の目にとまり、草土社、春陽会に参加。小杉放庵とも親交が深かった。

文化勲章受章。

## 松林 桂月

1876～1963(明治9年–昭和38年)

山口県出身、本名は伊藤篤、

日本画家（南画家）。

字は子敬、別号に香外、玉江漁人。

野口幽谷に師事。近代南画の巨匠。

帝国美術院会員、帝展審査員等を歴任。

文化勲章受章。